

第2章

第二次計画（平成30～令和4年度）の取り組みと課題

第二次計画では、「本を読むきっかけの提供」、「本を読むことの習慣化」、「本を読む力の育成」、「読書環境の整備」について具体的な目標を設定し取り組んできました。以下に取り組みの総括と課題を整理しました。

【取り組みの柱 1】

○ 本を読むきっかけの提供

めざす子どもの姿とその指標

【めざす子どもの姿】本に親しんでいる子ども

指標	区分		目標	H30	R1	R2	R3	R4
本を読むのが好き	小学校	府中町	80%以上	77.5%	78.4%	※1	85.2%	84.4%
		広島県		80.9%	80.1%	※1	78.5%	78.4%
	中学校	府中町	80%以上	74.0%	71.9%	※1	68.9%	74.7%
		広島県		71.7%	71.7%	※1	70.5%	71.3%

（平成30年度・令和元年度は、広島県「基礎・基本」定着状況調査（質問紙調査）による数値）

（令和3・令和4年度は、広島県児童生徒学習意識等調査による数値）

※1：令和2年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により調査がありませんでした。

小学校は、令和4年度までに84.4%で目標値80%以上を達成しました。中学校は、令和4年度までには74.7%で目標を達成できませんでしたが、広島県の平均を上回る結果となりました。中学校での読書活動の更なる取り組みが必要です。

具体的な取り組みと課題

（1）乳幼児期の取り組みの充実

乳幼児期に読み聞かせ等をしてもらって育った子どもは、小学校以降の読書量が増えることから、乳幼児親子を対象とした「ちいさなおはなし会」を毎週金曜日に、読み聞かせボランティアグループ等による「図書館のおはなし会」を毎週土曜日に定期的に行うことにより、親子の居場所として定着しました。

また、おススメの絵本リストを作成しました。

指標	目標	H30	R1	R2	R3	R4
①読み聞かせを毎日実施している幼稚園・保育園の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%
②乳幼児向け講座の実施 (おはなし会等)	実施	実施	実施	実施	実施	実施
③幼稚園・保育園に町立図書館からの団体貸出の利用割合	50%以上	0%	0%	0%	0%	0%

指標の成果と課題

- ◆ 指標の①と②は目標を達成しました。
- ◆ 指標の③については、幼稚園・保育園とも十分に本を所蔵していることから団体貸出の利用がありませんでした。
- ◆ 今後も子どもが本に親しむ機会の充実に努めます。

(2) 推薦図書を紹介

各学年(低・中・高学年等)に分類した推薦図書のリストを児童生徒に配布しました。

また、各学校において図書館利用の約束や読書ノート(読んだ本の名前と感想を記録)を記載したテキストを配布し、読書意欲の向上を図りました。

指標	区分	目標	H30	R1	R2	R3	R4
推薦図書リストを作成し、児童生徒に読書をすすめる取り組みを行う学校の割合	小学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	中学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%

指標の成果と課題

- ◆ 指標の小学校、中学校とも目標を達成しました。
- ◆ 今後も推薦図書等により子どもと本の出会いの機会を一層増やしていきます。

(3) イベントを通じた読書活動の普及・啓発

学校の図書館と町立図書館、それぞれの広報紙に互いのイベントを掲載し、情報を発信・交換しました。

「子ども読書の日」「古典の日」における本を各小中学校に団体貸出を行いました。

指標	区分	目標	H30	R1	R2	R3	R4
「子ども読書の日」「古典の日」における読書活動の取り組みを実施している学校の割合	小学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	中学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%

指標の成果と課題

- ◆ 指標の小学校、中学校とも目標を達成しました。
- ◆ 今後も読書活動の推進のため、普及・啓発を継続的に実施していきます。

(4) 町立図書館の取り組みの充実

「子ども読書の日」及び読書週間に府中緑ヶ丘中学校演劇部の生徒による乳幼児対象の「読み聞かせスペシャル」を開催しました。

「図書館利用のてびき」を小中学校の新1年生に配布しました。

学校の授業で学習者用パソコンから予約した本を学校へ届ける取り組みを行いました。

指標	目標	H30	R1	R2	R3	R4
①「子ども読書の日」及び読書週間の関連事業を町立図書館で実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
②町内の小・中学校児童生徒に町立図書館の利用案内を行う	実施	実施	実施	実施	実施	実施

指標の成果と課題

- ◆ 指標の①、②とも目標を達成しました。
- ◆ 「おはなし会」や「図書館まつり」などに加え、新たに読書活動推進に向けた取り組みを充実していきます。

(5) 学校と地域の連携

学校が、PTA本部やコミュニティスクールと連携を図り、読書に係る活動を実施しました。図書室においては、本の内容に関するイラストや模型などの学校図書館資料の作成や新刊本の整理・ポップ作り等の環境整備を図りました。

また、朝の読み聞かせでは、発達段階や聞き手の興味関心に応じた本を選定し、本の読み聞かせを実施しました。

指標	区分	目標	H30	R1	R2	R3	R4
読書ボランティアを活用している学校の割合	小学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	中学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%

指標の成果と課題

- ◆ 指標の小学校、中学校とも目標を達成しました。
- ◆ 子どもが家庭や地域において本と出会うきっかけづくりとして、コミュニティスクールなどボランティアを活用し、学校と地域がより一層連携できるよう進めていきます。

【取り組みの柱 2】

○ 本を読むことの習慣化

めざす子どもの姿とその指標

【めざす子どもの姿】本をたくさん読む子ども

指標	区分	目標	H30	R1	R2	R3	R4
学校図書館の1人当たりの年間貸出冊数	小学校	25冊以上	25冊	24.7冊	29.9冊	35.6冊	31.5冊
	中学校	10冊以上	7.1冊	7.3冊	6.6冊	9.6冊	8.8冊

小学校は、令和4年度31.5冊で指標の目標値25冊以上を大幅に上回り目標を達成しました。中学校は、8.8冊で目標値の10冊を下回りました。年度別では、令和2年度は減少しましたが、着実に増加しています。更なる取り組みが必要です。

具体的な取り組みと課題

(1) 学校における取り組みの充実

朝の始業までの時間を読書タイムとして読書をする時間を取りました。読書貯金通帳を作成し、借りた本を記録することで、読書への興味を高めさせたり、今まで読んだ本を振り返り自分の成長を実感させたりすることができました。

また、委員会による図書だよりの発行、おすすめの本の紹介やポップ作り等、児童生徒自らの読書活動推進の取り組みを進めることができました。

指標	区分	目標	H30	R1	R2	R3	R4
①全校一斉読書を週2回以上実施している小・中学校の割合	小学生	100%	100%	100%	※1	100%	60%
	中学生	100%	100%	100%	※1	100%	100%
②読書貯金や図書館だよりの発行など、日常のかつ継続的な読書活動推進の取り組みを行っている学校の割合	小学生	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	中学生	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※1：令和2年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により調査がありませんでした。

指標の成果と課題

- ◆ 指標の①中学生と②は達成しました。
- ◆ 指標の①小学生の令和4年度は達成できませんでしたが、引き続き児童生徒が自らの読書の幅を広げ、生涯にわたる読書活動の習慣を身に付けることができるよう継続的な取り組みを行います。

(2) 町立図書館における読書活動の推進

質の高い児童書を収集しました。

読み聞かせボランティア交流会を年1回開催し、情報交換等を行いました。

アンケートを基に蔵書を見直し、案内表示等を工夫して親しみの持てる青少年コーナーを再編しました。

令和2年度から貸出冊数を10冊に増やしました。

指標	目標	H30	R1	R2	R3	R4
町立図書館における子ども1人当たりの児童図書貸出冊数	15冊以上	13.6冊	12.7冊	12.4冊	10.1冊	17.0冊

指標の成果と課題

- ◆ 指標は、目標を達成できませんでした。
- ◆ 令和2年・3年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延で休館した期間があり、貸出冊数が減少していますが、新型コロナウイルス感染症の発症前でも下回っていることから児童生徒への情報発信など更なる取り組みが必要です。

(3) 学校と家庭との連携

学校だよりや図書館だよりなどで親子読書の推進に努めました。親または子どもが家で読み聞かせをした記録を記入するテキストを配布した学校もあります。おすすめの本をペアで紹介したり、学習者用パソコンを利用して全校に紹介したりする活動を行いました。

指標	区分	目標	H30	R1	R2	R3	R4
①保護者へ読書に関する啓発をしている学校の割合	小学生	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	中学生	100%	100%	100%	100%	100%	100%
②家庭で読んだ本の内容について、家族や友達と話をする児童生徒の割合	小学生	60%以上	60.8%	56.6%	※1	64.1%	63.1%
	中学生	55%以上	48.4%	51.8%	※1	47.1%	51.7%

※1：令和2年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により調査がありませんでした。

指標の成果と課題

- ◆ 指標の①は、小学生、中学生とも目標を達成しました。
- ◆ 指標の②は、小学校は、63.1%で目標の60%以上を達成しました。中学校は、51.7%で目標の55%を達成できませんでした。中学校での更なる取り組みが必要です。

【取り組みの柱 3】

○ 本を読む力の育成

めざす子どもの姿とその指標

【めざす子どもの姿】 目的に応じて読んだり読んだことを表現したりする子ども

指標	区分		目標	H30	R1	R2	R3	R4	平均
国語 B 問題 の平均通過率	小学校	府中町	60%	64%	72%	※1	71%	71%	69%
		広島県	以上	59%	66%	※1	66%	67%	64%
	中学校	府中町	65%	64%	78%	※1	68%	72%	70%
		広島県	以上	61%	74%	※1	65%	69%	67%

(平成 30 年度から広島県「基礎・基本」定着状況調査(学力に関するもの)が廃止。全国学力・学習状況調査による数値)
(令和元年度から AB 問題の形式を廃止)

※1：令和2年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により調査がありませんでした。

小学校は、平均通過率 69% で目標の 60% 以上を達成しました。

また、広島県の平均通過率も上回っています。

中学校は、平均通過率 70% で目標の 65% 以上を達成しました。

また、広島県の平均通過率も上回っています。引き続き児童生徒が読書を通じて様々な見方や考え方に触れ、表現する機会を設ける取り組みを行っていきます。

※国語 B 問題 「読むこと」「書くこと」の領域から、教科で学習した知識技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力についての内容。

※平均通過率 設問ごとの正答・準正答であった児童生徒の割合を、領域や教科全体等で平均した割合。

具体的な取り組みと課題

(1) 読む力を育てる指導の充実

各校において、朝の読書タイムを使った日常的な読書時間を確保しました。国語科においては、単元の最後に言語活動(リーフレットやポップ作成等)を設定し、教科書の文章を読む必然性を持たせる授業づくりを進めました。

また、各教科においては、調べたことを図、表、グラフ等を活用して説明し、根拠を明らかにしながら表現しました。表現するために資料を読み、自分の意見を入れながら読み取った内容を伝える活動に取り組みました。

指標	区分	目標	H30	R1	R2	R3	R4
本や資料などを利用して学習する児童生徒の割合	小学生	65%以上	59.5%	58.3%	※1	72.4%	77.0%
	中学生	55%以上	48.1%	52.7%	※1	54.6%	63.3%

※1：令和2年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により調査がありませんでした。

指標の成果と課題

- ◆ 指標は、小学校、中学校とも目標を達成しました。引き続き児童生徒が目的に応じて読んだり、読んだことを表現したりすることができるよう取り組みます。

(2) 表現する機会の提供

朝の時間や国語の時間を利用して、おすすめの本をペアで紹介しあったり、学習者用パソコンを通じて全校に紹介したりしました。各委員会では、相手意識、目的意識を明確にしてポスター、ポップ作りなどに取り組みました。夏休みには、「ことばの輝き」優秀作品コンクールで読書感想文、「家庭の日の作文」で家族についての作文を応募しました。

指標	区分	目標	H30	R1	R2	R3	R4
①「ことばの輝き」優秀作品コンクール等、校外の取り組みへ応募している学校の割合	小学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	中学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%
②読書感想文、スピーチ等、校内の取り組みを実施した学校の割合	小学校	60%以上	80%	100%	※1	100%	80%
	中学校	55%以上	50%	100%	※1	50%	100%
③本を紹介する取り組みをしている学校の割合	小学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	中学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%
④「子ども司書」養成講座に参加した児童の満足度		100%	100%	100%	※2	※2	※2

※1：令和2年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により調査がありませんでした。

※2：令和2年度からは、多くの児童生徒に参加してもらうため、取り組みをPOPコンテストに替えて入賞作品の展示を行いました。

指標の成果と課題

- ◆ 指標の①と③は、小学校、中学校とも目標を達成しました。
- ◆ 指標の②は、国語科において、教材との並行読書を進め、伝記から自分の生き方を見つめたり、物語から作者の生き方や考え方を読み取ったりする活動を行う等、読書活動と教科のカリキュラムマネジメントを推進しました。その結果、小学校は、80%で目標の60%以上を達成しました。中学校は、100%で目標の55%以上を達成しました。
- ◆ 指標の④は、令和元年度まで実施し、目標を達成しました。

【取り組みの柱 4】

○ 読書環境の整備

具体的な取り組みと課題

(1) 学校図書館の充実

本のテーマにあった掲示物や展示物（宇宙に関わる本が置いてあるコーナーには、惑星の模型や宇宙関連のイラスト）を作成し、子どもたちが図書室に行きたくなるような環境づくりを進めました。学校図書司書や司書教諭の実践交流を行うことで各校の取り組みの良いところを取り入れ、自校に生かすことができました。

指標	目標	H30	R1	R2	R3	R4
①学校図書館図書標準を維持しながら、計画的に新書購入・廃棄を進める	実施	実施	実施	実施	実施	実施
②すべての小・中学校で、展示物や配架の工夫を行う	実施	実施	実施	実施	実施	実施

指標の成果と課題

◆ 指標の①と②とも目標を達成しました。引き続き学校図書館の充実に取り組みます。

(2) 町立図書館の充実

子どもの発達段階に合わせ、調べ学習を含めた子どもの興味・関心や欲求等に対応できる図書の収集に努めました。

ホームページに「青少年向けおススメ図書リスト」を掲載しました。

年に数回程度「Teens 通信」を発行しました。

ヤングアダルトコーナーの案内表示等を親しみの持てるように工夫し、再編するとともに、学校図書館と連携し、ヤングアダルト世代が推薦する本の情報提供を行い、購入しました。

また、町内小中学生を対象とした POP コンテストの入賞作品を展示しました。

学習者用パソコンから予約した本を学校へ届ける取り組みを行いました。

指標	目標	H30	R1	R2	R3	R4
①子どもの発達段階に合わせ、調べ学習を含めた子どもの興味・関心や欲求等に対応できる図書の収集に努める	実施	実施	実施	実施	実施	実施
②ホームページに「青少年向けおススメ図書リスト」を掲載する	実施	—	—	—	実施	実施
③学校図書館と連携し、町内中学生作成の POP 展示などを行い、ヤングアダルト世代が推薦する本の情報提供を行う	実施	実施	実施	実施	実施	実施
④団体貸出制度を活用した学校図書館の支援を行う	実施	実施	実施	実施	実施	実施

指標の成果と課題

- ◆ 指標の①、③、④は、目標を達成しました。
- ◆ 指標の②は、令和2年度までは実施できませんでしたが、令和3年度以降は中高生を対象とした図書館だより「Teens 通信」をホームページに掲載し、季節ごとにおすすめ本の紹介を行いました。引き続き町立図書館の充実に取り組みます。